

令和7年
2025年

10月10日
金曜日

第11811号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料（前納）
年間 82,080円
（税込み）
6か月 42,120円
（税込み）

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



日本食鳥協会がメディア向け試食会を開催……P3

- ▶ 牛マルキン8月概算払い、肉専用種は21都道県で交付、需要低迷で大幅増、豚マルキンは交付なし…………… P2
- ▶ 10月8日は「鶏すきやきの日」、日本食鳥協会がメディア向け試食会を開催…………… P3
- ▶ 8月の豚肉輸出は、前年同月比53・6%増、輸出額も増…………… P3
- ▶ 肉事協が黒毛和種枝肉共励会、最優秀賞雌牛の部に長太屋、去勢の部に福永畜産…………… P4
- ▶ 東京食肉市場まつり共励会、GPは高崎畜産…………… P4
- ▶ 開設60周年記念・神戸市場共進会で、香川・高橋さん名誉賞牛を庄田軒が1万円で落札…P5
- ▶ オランダで鳥フル、生きた家禽等の輸入一時停止…………… P5
- ▶ プリマハム歳暮ギフト①「匠の膳」など中心に幅広いラインナップ…………… P6～7
- ▶ 高知県食肉センターが食の祭典「肉食麦飲2025」を開催…………… P7
- ▶ クリエイトSDがスーパーの八百半HDを子会社化…………… P7
- ▶ [人事異動] スターゼン(10月6日付)…………… P7
- ▶ 【関東の輸入豚肉現物相場】Cは堅調、F引き続きスソ物中心…………… P8
- ▶ 【関東の国産豚肉現物相場】Cはバラなどの引き合い、Fスソ物堅調…………… P8
- ▶ ニッポン「伝説のから揚げ粉 カリッじゅわっ実感キャンペーン」を実施…………… P8～9
- ▶ 【輸入牛現物相場】…………… P9
- ▶ 【ブロイラー市中現物相場】…………… P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]9日……P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]9日…P11

注目のヘッドライン

牛マルキン8月概算払い、肉専用種は21都道県で交付、需要低迷で大幅増、豚マルキンは交付なし

…詳細はP2

10月8日は「鶏すきやきの日」、日本食鳥協会がメディア向け試食会を開催

…詳細はP3

りんご和牛
信州牛
登録商標 第1394040号

信州プレミアム牛肉
登録商標 第5282895号 第5282894号

信州牛生産販売協議会

国産牛豚内臓肉、チルドビーフ、チルドポーク卸売

健康と食生活を演出する
ビセラル株式会社

〒123-0865 東京都足立区新田 2-8-12

営業一課 / ☎ (03) 3919-2929 FAX (03) 3919-2930

総務 / ☎ (03) 3919-2980 FAX (03) 3919-2941

<http://www.visceral.co.jp>

牛マルキン8月概算払い、肉専用種は21都道県で交付 需要低迷で大幅増、豚マルキンは交付なし

農畜産業振興機構は9日、肉用牛肥育経営安定交付金(牛マルキン)の令和7年8月分の標準的販売価格および標準的生産費、交付金単価(概算払い)を公表した。

肉専用種については、標準的生産費が標準的販売価格を上回った21都道県で交付する。枝肉価格が伸び悩む中、前月に比べ交付地域が東海北陸以北で大幅に増加している。交付金単価を高い順にみると北海道の6万9515・3円、福島県の6万9884・3円、宮城県の6万1052・6円、兵庫県の6万736・7円で高く、次いで青森県、群馬県、茨城県と続く。なお、石川県、福井県、岐阜県、兵庫県の4県については、都道府県標準販売価格が規定の算出額を上回ったため、単独で標準的販売価格の算定を行っている。

交雑種については、標準的生産費が78万2845円

となり、標準的販売価格の77万5004円を上回ったため交付金単価は56・9円。乳用種は生産費が51万8242円となり、販売価格の48万1269円を上回ったため、交付金単価は2万6275・7円となった。

また、肉豚経営安定交付金(豚マルキン)の7年度第1・2四半期については、肉豚1頭当たりの見込みの標準的販売価格が4万8791円となり、生産費4万4345円を下回らなかったことから、概算払はない。

肉用牛1頭あたりの交付金単価の算出結果(全国)

区分	単位:円/頭	
	交雑種	乳用種
標準的販売価格(A)	775,004	481,269
標準的生産費(B)	782,845	518,242
差額(C)=(A)-(B)	△ 7,841	△ 36,973
暫定交付金単価(概算払い)	56.9	26,275.7

※交付金単価は差額に100分の90を乗じた額から7千円を控除した額

肉用牛1頭あたりの交付金単価の算出結果(肉専地域別)

区分	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県
標準的販売価格(A)	1,105,910	1,083,562	同左					1,111,185
標準的生産費(B)	1,190,927	1,157,460	1,129,204	1,159,176	1,134,573	1,131,491	1,168,989	1,165,231
差額(C)=(A)-(B)	△ 85,017	△ 73,898	△ 45,642	△ 75,614	△ 51,011	△ 47,929	△ 85,427	△ 54,046
暫定交付金単価(概算払い)	69,515.3	59,508.2	34,077.8	61,052.6	38,909.9	36,136.1	69,884.3	41,641.4

栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	山梨県	長野県	静岡県	新潟県
1,111,185	同左								1,106,118
1,158,907	1,183,973	1,162,716	1,142,840	1,141,976	1,145,320	1,142,650	1,139,027	1,120,385	1,155,354
△ 47,722	△ 72,788	△ 51,531	△ 31,655	△ 30,791	△ 34,135	△ 31,465	△ 27,842	△ 9,200	△ 49,236
35,949.8	58,509.2	39,377.9	21,489.5	20,711.9	23,721.5	21,318.5	18,057.8	1,280.0	37,312.4

富山県	石川県	福井県	岐阜県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県
1,106,118	1,380,945	1,317,156	1,352,468	1,139,427	同左	1,152,978	同左		1,322,394
1,146,818	1,146,204	1,116,284	1,172,914	1,120,232	1,104,241	1,101,758	1,133,431	1,069,080	1,397,657
△ 40,700	234,741	200,872	179,554	19,195	35,186	51,220	19,547	83,898	△ 75,263
29,630.0	-	-	-	-	-	-	-	-	60,736.7

奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県
1,152,978	同左	1,129,248	同左				1,133,966	同左	
1,070,549	1,076,617	1,175,276	1,099,897	1,088,547	1,101,473	1,115,503	1,127,228	1,134,210	1,114,062
82,429	76,361	△ 46,028	29,351	40,701	27,775	13,745	6,738	△ 244	19,904
-	-	34,425.2	-	-	-	-	-	-	-

高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
1,133,966	1,138,222	同左						1,249,554
1,092,469	1,129,414	1,132,199	1,137,170	1,133,786	1,121,719	1,109,418	1,120,134	1,083,558
41,497	8,808	6,023	1,052	4,436	16,503	28,804	18,088	165,996
-	-	-	-	-	-	-	-	-

10月8日は「鶏すきやきの日」 日本食鳥協会がメディア向け試食会を開催

一般社団法人日本食鳥協会(佐藤実会長=写真)は、毎年10月8日を「鶏すきやきの日」に制定した。10(とり)08(すきやき)と語呂を合わせ、0をハートに見立て「好き」を表現した。記念して8日、東京都目黒区の「炭火焼MARU」で、メディア向け試食会を開催し、熊本県で飼養される大型の鶏種で、幻の地鶏といわれる「天草大王」を使った鶏すき焼きを振る舞った。

佐藤会長は「牛肉のすき焼きよりもリーズナブルで、家庭での調理もしやすい。また、鶏肉は低脂肪高タンパクで、秋から冬にかけては長ねぎや葉物といった旬の野菜、きのこなど具材との相性も良く、締めの子供丼なども楽しめるので、栄養価も高くバランスも取れている。子どもからお年寄りまで、食べやすい料理で、モモ肉やムネ肉だけでなく、つくね、手羽、レ

バーなどを使ってもおいしく食べられる。外食とのコラボレーション、小売店頭のメニュー訴求などでも、打ち出しを強めていく」と鶏すき焼きをアピールした。



10月8日～12月31日まで、協会ホームページで「国産鶏もも肉 すき焼き応援キャンペーン」も展開し、毎月8日に、100人に鶏すきのタレ、京都産の京すきやきふなどの「鶏すき焼きお楽しみセット」のプレゼントを実施する。

8月の豚肉輸出は、前年同月比53・6%増、輸出額も増

財務省貿易統計による8月の国産豚肉輸出量は147t(前年同月比53・6%増)と前年同月より増加した。前月比でも46・6%増加した。輸出先国は合計6カ国・地域で、国別にみると香港が最も多く、合計101t(51・9%増)。次いでシンガポール、タイ、ベトナムとなった。輸出額は合計2億451万円(57・9%

増)となった。キロ当たり輸出単価は1394円。

一方、鶏肉・鶏くず肉などは、合計378t(23・3%減)。輸出先では香港が最も多く303t、次いでベトナムが73tで、香港への輸出分のうちモモ肉、ムネ肉は60t(13・9%増)となった。キロ当たり輸出単価は345円。

豚肉輸出の表

単位：キロ

	香港		ベトナム	シンガポール	マカオ	タイ	その他国	合計
	冷蔵	冷凍	冷凍	冷凍	冷凍	冷凍		
2024年11月	762	92,224	138	13,372		201	113	106,810
12月	3,452	121,446		39,170	2,816	401	214	167,499
2025年1月	824	72,063		10,656	462	307	-	84,312
2月	2,257	92,099		35,337	2,802	5,050	-	137,545
3月	1,169	103,660		30,596	6,923	612	-	142,960
4月	2,929	64,821		21,987	2,024	5,063	-	96,824
5月	1,032	94,012	372	19,528	4,303	1,137	-	120,384
6月	4,767	88,199	1,536	31,897	1,536		-	126,618
7月	926	65,763	922	23,075	1,306	6,483	1,559	100,034
8月	2,662	98,277	193	38,779	4,858	1,919	-	146,688
前年同月比	270.3%	150.1%	124.5%	196.9%	105.2%	42.0%	-	153.6%
2024年計	17,974	871,194	427	351,461	37,311	21,471	3,115	1,300,698
前年同期比	159.5%	135.3%	1950.3%	80.7%	84.9%	102.9%	162.6%	116.2%

肉事協が黒毛和種枝肉共励会 最優秀賞雌牛の部に長太屋、去勢の部に福永畜産

全国肉牛事業協同組合(佐々木信弘理事長=写真)は9日、東京食肉市場で第19回黒毛和種枝肉共励会を開催した。

全国から136頭(雌57頭、去勢79頭)が出品され審査の結果、雌の部の最優秀賞に長太屋(三重県志摩市)、去勢の部の最優秀賞に福永畜産(鹿児島県さつま町)の出品牛が輝いた。それぞれキロ当たり4008円でマルヨシ商事、3855円でナカムラ畜産が購買した。

長太屋の出品牛はA5、BSMNo.12、枝肉重量530kg、ロース芯面積111cm²、バラの厚さ8・7cm。福永畜産の出品牛はA5、BSMNo.12、枝肉重量583kg、ロース芯面積141cm²、バラの厚さ10・7cm。

佐々木理事長は褒賞授与式開会のあいさつで「今回の出品牛は雌牛、去勢共に出品者の丹精がよく表れ、消費者に好まれる小ザシがよく入ったレベルの高いものになった。今後も^{せつさたくま}切磋琢磨し、生産に励んでいこう」と述べた。

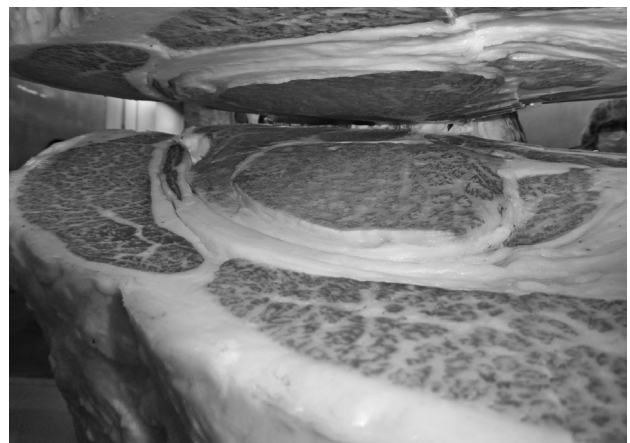
そのほかの主な結果は次のとおり。出品者(性別、枝肉重量、格付、キロ単価、購買者)。
[優秀賞1席 雌牛の部] 堀坂(雌、541kg、A5、5005円、マルヨシ商事)、[優秀賞1席 去勢の部] 高崎ファーム(去勢、623kg、A5、2857円、コシヅカ)、[優秀賞2席 雌牛の部] 野村畜産(雌、455kg、A5、2993円、明治屋)、[優秀賞2席 去勢の部] 加藤牧場(去勢、701kg、A5、2863円、宮畜産)



東京食肉市場まつり共励会、GPは高崎畜産

JA鹿児島県経済連は8日、今月行われる東京食肉市場まつりを前に東京食肉市場まつり共励会を開催した。まつりの推奨銘柄牛である「鹿児島黒牛」となる黒毛和牛55頭(雌10頭、去勢45頭)が出場し、審査の結果、グランドチャンピオンには(株)高崎畜産が出品した去勢牛(写真、父「梅華福」、母の父「華忠良」、母の祖父「安福久」、格付5、BMSNo.12、枝肉重量556kg、ロース芯面積128cm²、歩留まり基準値85・5)が選ばれ、(株)中村畜産がキロ当たり3512円で購買した。受賞に当たり出品した高崎淳史専務は「とてもうれしい、スタッフも喜んでおり、やる気につながる。素牛は県内導入。出荷前からいい成績が期待できる牛だった。これから共励会が増えてくる。上位入賞できるようしっかり管理をしていく」と述べた。

そのほか、優秀賞入賞牛の出品者(牛成績、購買



者)は次の通り。(株)高崎ファーム(雌、格付A5、BMSNo.12、枝肉重量509kg、単価2907円、購買者=中村畜産)、同(去勢、A5、No.12、584kg、2904円、コシヅカ)

開設 60 周年記念・神戸市場共進会で、 香川・高橋さん名誉賞牛を庄田軒が 1 万円で落札

神戸市中央卸売市場西部市場で3日、「開設60周年記念第16回神戸市西部市場銘柄和牛共進会」(同実行委員会主催)が開催され、黒毛和種99頭(雌93頭、去勢6頭)が出品された。このうち名誉賞には香川県の高橋充信さん出品の「さぬき牛」を選出。同牛はその後の競りで、キロ当たり1万円の最高値で神戸市長田区の食肉卸・小売(株)庄田軒精肉店が落札した。

毎年開催されている同共進会は今回、市場開設60周年を記念した特別開催。高橋さんは、過去4連覇を含め、この共進会で通算7回目の名誉賞受賞と驚異の成績を残している。今回の名誉賞牛は33カ月齢の雌牛で、枝肉重量452kg。格付A5等級のBMS No.12。ロース芯面積114cm²、バラの厚さ8・7cm、皮下脂肪の厚さ1・6cm、歩留まり基準値83。

高橋さんは名誉賞牛について「岡山県から導入した。導入時は227kgで小さめの牛だったが、自分なりに良くなりそうな体型だと思って買い付けた。良い感じに食べて順調に育ったので、楽しみに育ててきた。(出荷時の体型は)詰まっっていて、尻が張り、形が良かった。普段は28~30カ月齢で肥育しているが、この共進会に合わせるため33カ月まで飼い込んだ。(枝肉は)ロースも張っており、ロースの構成比が高く、歩留まりも良い。脂質も良くて、モモ抜けも良かったので、非常に良い出来だった」と喜んだ。

買い受けた庄田軒精肉店の水原導久社長は「いつも買わせていただいている高橋さんが獲得された名誉賞牛を落札できてうれしい。弊社にとって神戸市場がホームグラウンドなので、神戸市場がないと困る。子牛相場が高いといわれている中、神戸市場まで良い牛を持ってきていただいているので、こうして農家さんを応援することで神戸市場が活気付けばと



思っている」と話した。

また開催に当たり丸橋社長は「生産者の皆さんには、大変厳しい情勢にもかかわらず、出品いただいたことに感謝申し上げます。一方、購買者にとっても、猛暑による販売への影響や、諸経費の高騰、人材確保など、大変厳しいと思われるが、生産者の皆さんが本日の共進会に向けて、丹精を込めて作り上げた99頭。何とぞ活発な購買をお願いしたい」とあいさつした。



その他の入賞牛の出品者は次の通り。

最優秀賞 花補佐牧場(徳島県、5千円、購買者=川岸畜産)、佐賀牛宮崎牧場(佐賀県、4500円、ビージョイ神戸支店)▷優秀賞 松永牧場(島根県、3500円、ヒルノ)、中山牧場(佐賀県、3805円、寺畜)、高崎ファーム(鹿児島県、3815円、ビージョイ神戸支店)▷優良賞 谷口畜産(鳥取県、3355円、HANAFUSA)、石原畜産(鹿児島県、3255円、辻西畜産)、中川文博(熊本県、3500円、庄田軒精肉店)、井上源次(奈良県、3205円、とうげ)▷厳選肉質賞匠 高崎畜産(鹿児島県、3605円、太田家)

オランダで鳥フル、生きた家禽等の輸入一時停止

農水省動物検疫所は9日、オランダの家禽飼養施設で高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたことから、同国の家畜衛生単位のうち第5番の区域

から輸出される生きた家禽等については、輸入を一時停止する措置を講じた。

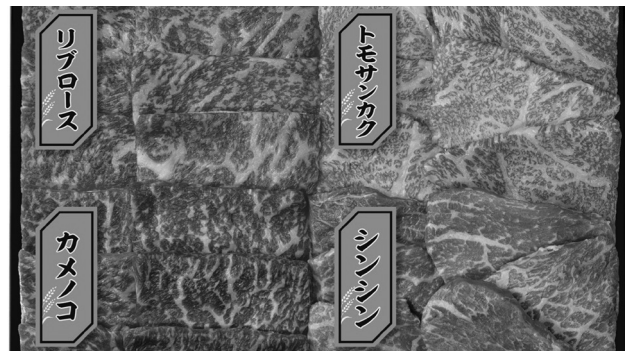
プリマハム歳暮ギフト①「匠の膳」など中心に幅広いラインナップ

既報の通りプリマハムは8日、2025年歳暮ギフトのオンライン会見を開催。はじめに片桐修二執行役員マーケティング本部長が「中元や歳暮といったフォーマルギフト市場が全体的に縮小する一方、カジュアルギフトの需要が拡大しており、当社としてもしっかり取り組む。ECにも少しずつ取り組んでおり、販路を広げてギフト事業を少しずつでも拡大していきたい」と述べた。続いて、ギフトの市場環境と歳暮ギフトについて杉山敏章マーケティング本部商品企画部第三課長が、カジュアルギフトについては北村沙都子マーケティング本部商品企画部第三課担当課長が説明した。

【市場動向】2025年の中元は市場全体では前年並みだったものの、ハム・ソーセージギフトは前年比94%と減少。当社もほぼ同じように推移し、前年実績を割り込んだ。ただ、今中元でリニューアルした「匠の膳」は、売上ベースで前年比108%と伸長。それ以外にローストビーフや食肉ギフトも微増ではあるが、伸びている。特に食肉ギフトは単価の高い和牛ギフトが好調に推移した。フォーマルギフトのダウントrendは今後も継続すると見込む一方、市場全体ではカジュアルギフト市場が年々拡大。当社としても今歳暮、さらに次年度に向けて積極的に取り組む。

【歳暮ギフト】メインブランドの「匠の膳」シリーズは、今中元で全面リニューアルを実施。前年を上回った。「おいしいハム・ソーセージを作るためには、おいしい豚肉を使用する」という考えの下、当社の指定農場で飼育しているブランド豚「鹿児島もち豚」を使用。商品の付加価値がお客さまに認められ、今中元の数字に結びついたと考えている。ブロック、スライスを取りそろえ、昨今の経済状況も考慮して3千～5千円台と、ベーシックでお求めやすい価格帯となっている。

「恵味の黒豚」シリーズには、ハム・ソーセージから味付肉、食肉ギフトまで、幅広く取りそろえる。引き続き脇屋シェフ監修商品(上写真)も発売。東京代官山ハイライフポークテーブル監修ギフトは、競合他社にはないバーベキューバックリブも取りそろえており、引き続き販売に注力する。発売3年目の「マイスターバレー」シリーズは、ドイツ食肉マイスターの資



格を取得した当社社員が監修したギフト。フードロスにも目を向け、ハム・ソーセージでは珍しい冷凍タイプだ。ローストビーフについては中元で前年を上回り、特に和牛ギフトやバラエティー感のある商品が前年から大きく伸長。カテゴリー全体の売上増加に貢献した。中元で好調だった食肉ギフトでは、昨年引き続き「秋田牛」シリーズ(下写真)を販売。希少部位を取りそろえた「焼肉4種食べ比べ」セットやカタログスを使ったすき焼きなど、食べ応えある商品をラインアップする。

【カジュアルギフト】カジュアルギフトとして打ち出すのは当社初となる。今回、新宿に店舗のある「SPICY CURRY 魯珈」の監修を受け、肉のうまさをスパイスで引き出すというコンセプトの下に商品を開発。同店では昨年、「香薫」を使ったスパイスカレーを販売していただいた縁がある。今回、5商品を組み合わせた4セットを発売。価格帯は2800～4800円と、カジュアルギフトということもあって手取りやすい2千円台の商品を2セット用意。中身もハム・ソーセージから加工食品までを取りそろえている。10月9日から当社ECサイトで先行発売を開始。年末から年始にかけての期間・数量限定で発売する。

販促プロモーションについては片桐本部長が説明。アンバサダーとして永島優美さんを起用したこと

について「今歳暮を皮切りにギフトを中心にさまざまな販促資材に登場していただきたいと考えている」と説明。さらに「東京ディズニーリゾート招待キャンペーンを実施する。これまで対象商品は『匠の膳』の

みだったが、『恵味の黒豚』、さらに当社はどちらかといえば、量販店での取り扱いが多く、そこで販売いただいている『匠伝説』も加え、全3シリーズを対象にキャンペーンを行う」と説明した。(連載終わり)

高知県食肉センターが食の祭典「肉食麦飲 2025」を開催 「おまち多目的広場」で銘柄牛・豚肉と県産クラフトビールを販売提供

高知県食肉センター(株)は10月4、5日の2日間、高知市追手筋2丁目の「おまち多目的広場」で県産畜産物と県内醸造のクラフトビールの魅力発信を目的としたフードイベント「肉食麦飲2025」を開催した。

同イベントは、ビールや県産ブランドの食肉の認知向上および、観光客やインバウンドの呼び水となる効果を期待して始められたもの。高知県内のブルワリー(ビール醸造所)と食肉販売業者・飲食店などが一堂に会し、県内醸造のクラフトビールや肉料理を堪能できる催事として昨年は3千人が来場した。

今年は、回を追うごとに盛り上がりを見せている状況を勘案し、市内中心部”ひろめ市場”横の「おまち多目的広場」に会場を移動。これまでよりもさらに参加しやすくなったことで、当日は地域住民はもとより、多くの観光客も訪れ、各事業者が販売する牛串、豚串、ハンバーガー、ローストビーフ、ソーセージ、ホル

モン鉄板、クラフトビールなど、いずれのブースも大盛況となった。

フードの出店企業・団体は以下のとおり。



横山精肉、しまん豚、JA高知県れいほく営農販売課、吉岡精肉店、焼肉 寛十郎、5019PREMIUM FACTORY、高知商業高校ジビエ部(5日のみ)、TOSA HOPE、三谷ミート、高麗キムチ(4日のみ)、津野山畜産公社、土佐あぐりーど、大野見七面鳥生産組合、とさのさと、ロカフェ、ラーメンシロイワ、SORA ~dining bar~, ハーベスト、土佐あかうし協会、高知県食肉センター

クリエイト SD がスーパーの八百半 HD を子会社化

ドラッグストアなどを運営するクリエイトSDホールディングスは6日、子会社の(株)クリエイトエス・ディーが(株)八百半ホールディングス(栃木県鹿沼市、片柳伸一社長)を買収すると発表した。

八百半ホールディングスは創業64年、「ヤオハン」の屋号で栃木県内にスーパーマーケット8店舗を展開する(株)八百半フードセンターを子会社に持ち、同

市内にドミナントを形成している。連結売上高66億500万円(2025年3月期)。

クリエイトエス・ディーは小商圏での利便性強化を目的として、生鮮を含めた食料品の取り扱いを強化している。新商勢圏である栃木県における店舗展開の最良のパートナーであると考え決議した。株式取得予定日は11月11日。

【人事異動】 スターゼン (10月6日付)

スターゼンは9日、人事異動を公表した。

ADIRECT SINGAPORE PTE. LTD. 出向代表取締役社長(海外本部輸入ブローラー・加工食材部

長) 紙谷直幸▷海外本部輸入オファル部長兼輸入ブローラー・加工食材部長(海外本部輸入オファル部長) 宣祐治

【関東の輸入豚肉現物相場】Cは堅調、F引き続きスソ物中心

[フローズン] 引き続きベリーなどの在庫水準は高いものの、ピクニックなど、スソ物を中心に引き合いは強い。今週末は3連休を控えているが、秋らしい気候となってきたこともあり、行楽需要の盛り上がりなどにも期待がかかる。

[チルド] 本格的な秋を迎え、国産相場は引き続き軟調に推移しているものの、輸入チルドは堅調な荷動きをみせている。引き続きベリーやロインといった中部位に加え、ピクニックなど、スソ物についても引き合いがみられ、全体的に需給は締まっている。再び為替も円安傾向になっており、先高観も。

【輸入豚肉現物相場】 (関東仲間冷蔵庫渡し)

キロ/円、税抜き

	輸入元	部位	相場	気配
フローズン	米国産	クッションミート	730中心	↗
		テンダーロイン	840中心	↗
	カナダ産	ショート・ボックス	790中心	↗
		ウデ	780中心	↗
		モモ	790中心	↗
	デンマーク産	ベリー	930中心	→
		カラー	880中心	→
		ロインMM	860中心	→
		テンダーロイン	860中心	→
	フランス産	シートベリー	920中心	→
カタロース		880中心	→	
チルド	米国産	ロイン (FLON)	780中心	→
		CCロイン	780中心	→
		テンダーロイン	1,080中心	→
		山付ベリー	1,250中心	→
		バックス	830中心	→
	カナダ産	テンダーロイン	1,080中心	→
		ベリー	1,210中心	→

【関東の国産豚肉現物相場】Cはバラなどの引き合い、Fスソ物堅調

量販店などの売り場も本格的な秋冬向けとなっており、鍋物商材の提案も強化されてきている。スライス商材の引き合いが強まってきており、バラやカタロースなどの荷動きは堅調に推移している。一方で

依然として価格訴求力のある商品への需要が根強い中、引き続きウデやモモといったスソ物の引き合いは強い。

フローズンも引き続きウデやモモなどスソ物中心の荷動きが継続している。一方、気温が下がり、出荷頭数が増加基調となる時期であり、枝肉相場は軟調な展開となっている。これまで夏場の高豚価が尾を引いて凍結回しにすることができなかったが、ようやく年末年始に向けて凍結回しとしていくケースも増えそうだ。

関東の国産豚カット肉相場

円/キロ

生鮮物		冷凍物	
部位	相場	部位	相場
カタロース	1,080~1,180	カタロース	970~1,000
ウデ	800~830	ウデ	760~800
ロース	1,050~1,080	ロース	950~980
バラ	1,100~1,200	バラ	980~1,030
モモ	800~850	モモ	770~800
ヒレ	1,000~1,050	ヒレ	930~960

ニッポン「伝説のから揚げ粉 カリッじゅわっ実感キャンペーン」を実施

(株)ニッポン(東京都千代田区、前鶴俊哉社長)は、10月1日~12月31日の期間で、「伝説のから揚げ粉 カリッじゅわっ実感キャンペーン」を実施する。

同社は、から揚げ専門店「からあげ縁-YUKARI-」

監修の「伝説のから揚げ粉」の魅力をより多くのお客に伝えるために同キャンペーンを実施。キャンペーン期間中に同商品を2個以上購入したレシートなどの購買証明を撮影し、Webの応募フォームを通じて応

募すると、抽選で合計100人に「BRUNOホーロー角型天ぷら鍋」または「おこめギフト券」をプレゼント

する。キャンペーンサイト=https://www.cp-lp.jp/karijyuwajikkan-campaign/

【輸入牛現物相場】 豪州産ショートが一転下落、増えた在庫を適正化へ

豪州産チルドは現地価格の上昇を受けて、全体的に相場が上昇傾向だったが、荷動きの鈍さと在庫過多を受けてショートグレインは一転下落傾向。しかしながら、末端の売れ行き鈍化が解消するとは考えにくい。とはいえ在庫が適正量になれば、再び相場は上

昇するものと思われる。米国産チルドは価格高騰により、荷が動くのはチャックアイロールなど一部のアイテムに限られる。しかし、数量はタイト。豪州産の現地価格上昇の主な要因は世界的に米国産から豪州産に切り替えていること。これは日本も例外ではなく、豪州産が価格上昇しても米国産ほどではないので、豪州産を選ぶか、豚肉・鶏肉にシフトするという流れで、量販店は外食店よりも他畜種にシフトする傾向が強い。フローゼンは引き続き豪州産ではひき材中心の引き合い。米国産は総じて弱い。

輸入牛肉現物相場

円/キロ

	商品名	グラス	ショートグレイン
豪州産C	トップサイド	1,280 ~ 1,380	1,400 ~ 1,480
	シックフランク	1,350 ~ 1,450	1,450 ~ 1,500
	アウトサイド	1,300 ~ 1,350	1,350 ~ 1,400
	ポイント	1,280 ~ 1,350	1,350 ~ 1,450
	ナーベル	1,100 ~ 1,150	1,200 ~ 1,250
	ランプ	1,600 ~ 1,650	1,750 ~ 1,950
	クロッド	1,330 ~ 1,380	1,380 ~ 1,450
	チャックロール	1,400 ~ 1,450	1,580 ~ 1,680
	チャックテンダー	1,400 ~ 1,500	1,500 ~ 1,600
	キューブロール	3,000 ~ 3,500	4,000 ~ 4,500
	ストリップロイン	2,350 ~ 2,450	2,600 ~ 2,700
	テンダーロイン	4,200 ~ 4,400	4,700 ~ 5,000
豪州産F	チャック&ブレード	-	-
	ポイント	1,280 ~ 1,350	-
	ナーベル	1,050 ~ 1,150	-
	カウミート	1,100 ~ 1,200	-
	トップサイド	1,250 ~ 1,350	-
	シックフランク	-	-

	商品名	チルド	フローゼン
米国産	スクウェアカットチャック	-	-
	ショルダークロッド	1,700 ~ 1,800	1,550 ~ 1,650
	ショートプレート	1,100 ~ 1,250	1,000 ~ 1,050
	ボンレスショートトリブ(チョイス)	5,850 ~ 6,000	-
	ボンインショートトリブ	-	-
	チャックリブ(チョイス)	2,400 ~ 2,600	2,300 ~ 2,400
	ストリップロイン(チョイス)	4,000 ~ 4,500	-
	リブアイロール(リップオン)	5,000 ~ 5,500	-
	テンダーロイン	5,200 ~ 6,000	-
	ステーキレディ	-	-
	チャックアイロール(チョイス)	2,200 ~ 2,500	-
	同(プライム)	2,400 ~ 2,600	-

【ブロイラー市中現物相場】 国産生鮮モモ、鍋需要本格化

◇国産物 全国的な気温低下もあり、鍋需要が増加したことで、生鮮モモは堅調。東北地方で先行して荷動きが良くなっている。生鮮ムネは高止まり傾向が続く。量販店などで、本格的に棚替えが進み、鍋物等のメニュー訴求が増

加することから、生鮮モモは先高観が強まった。

◇輸入物 本格的な秋の到来から、揚げ物用途などでの荷動きが良くなっていること、ブラジル、タイ共

に国内需要が堅調なこと、また、タイでカンボジアとの国境紛争によるワーカー不足が解消していないことなどから先高観が強まった。やや、円安傾向がみられ、下げに向かう要因は少ない。

ブロイラー現物相場 単位:円/キロ

国産冷凍物	
モモ正肉(産地凍結)	600~650
ムネ正肉(〃)	410~490
手羽モト(〃)	300~350
手羽サキ(〃)	玉なし
砂キモ(〃)	玉なし
ササミ(〃)	380~500

単位:円/キロ

輸入物	
米国産モモ正肉(240gUP)	460中心
米国産ジャンボレッグ(350gUP)	350中心
米国産BIL	550~570
ブラジル産モモ正肉	450~470
ブラジル産モモ角切り	450~470
ブラジル産皮なしモモ正肉	470中心
ブラジル産グリラー(1000gUP)	430~450
ブラジル産手羽サキ(50gUP)	600中心
タイ産モモ正肉	500中心
タイ産モモ角切り(25~30g)	500中心
米国産モモ串	玉なし

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 10月9日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	5,405	2,538	2,216	-	-
		安値	2,124	2,158	2,130	-	-
		平均	2,580	2,268	2,176	1,728	-
	122頭	頭数	103	16	2	1	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	2,035	-	-	-
	1頭	頭数	-	1	-	-	-
	去 A	高値	4,163	2,330	2,177	-	-
		安値	2,166	1,981	2,118	-	-
		平均	2,504	2,223	2,154	-	-
	181頭	頭数	153	24	4	-	-
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	1,953	-	-	
1頭	頭数	-	-	1	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	平均	-	1,660	1,556	1,463	-
		20頭	頭数	-	3	11	6
	雌 C	平均	-	-	1,501	-	-
		2頭	頭数	-	-	2	-
	去 B	平均	1,859	1,787	1,593	1,452	-
		20頭	頭数	1	3	8	8
去 C	平均	-	1,610	-	1,427	-	
	4頭	頭数	-	1	-	3	-

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	342 427	1,118 1,030	- 259.0	(競り)	(相対)	
				-	15	63

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,330	1,959	1,601	1,566	-
	B	-	-	-	1,389	1,177
和 去	A	2,374	2,227	1,984	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	-	1,004
	C	-	-	-	1,031	951
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	1,726	1,476	1,418	-
	C	-	-	1,300	1,379	864
交 去	B	1,834	1,712	1,595	1,243	-
	C	-	1,502	-	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	608	630	594	552	540
	安値	563	529	507	436	312
	平均	583	547	534	512	516
	頭数	(10)	(419)	(321)	(175)	(105)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
搬入 相対	高値	-	-	-	-	572
	安値	-	-	-	-	572
	平均	-	-	-	-	572
	頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(15)

[大阪食肉卸売市場] 10月9日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [] は豚規格

	5[極上]	4 [上]	3 [中]	2 [並]	1 [等外]
和 雌 A	2,425	-	-	-	-
(頭数)	(9)	(-)	(-)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
和 去 A	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	2,053	1,702	1,571	-	-
C	-	1,459	-	-	-
交雑去 B	1,911	1,697	1,611	1,537	-
C	-	1,640	1,510	-	-
豚	-	-	602	559	474

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	10月9日	10月8日	(10月累計)
豚	65,500	65,700	445,100
成牛計	3,680	4,550	30,230
和牛雌	840	1,100	7,680
和牛去勢	1,040	1,340	8,090
乳牛雌	850	660	5,090
乳牛去勢	430	400	2,750
交雑雌	250	490	2,990
交雑去	270	560	3,520

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 10月9日

	1,538円	(前日 1,528円)
東京		
	1,595円	(前日 1,456円)
大阪		

[豚・全農建値] 10月9日

上	中	取引頭数	市況
560円	541円	1,379頭	弱もちあい

と畜 売買	牛 96頭	豚 95頭	牛概況	反発
	牛 130頭	豚 69頭	豚概況	まちまち

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 10月9日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	626 (626)	- (-)	6,068	-	もちあい
仙台 [中]	579 (-)	497 (405)	392	35	小反発
栃木 [地]	553 (582)	491 (535)	1,618	90	急落
茨城 [地]	557 (563)	536 (534)	1,388	822	下押し
群馬 [地]	559 (559)	472 (469)	2,291	308	もちあい
さいたま [中]	571 (553)	554 (545)	208	215	反発
東京 [中]	547 (562)	534 (543)	1,118	1,030	続落
横浜 [中]	562 (576)	537 (548)	672	672	下押し
山梨 [地]	679 (584)	677 (561)	180	151	まちまち
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	594 (613)	572 (554)	977	279	下押し
京都 [中]	635 (-)	598 (-)	72	102	もちあい
大阪 [中]	- (579)	602 (532)	95	38	-
神戸 [中]	671 (-)	638 (-)	47	125	-
岡山 [地]	679 (711)	712 (645)	273	342	反落
広島 [中]	- (603)	- (570)	367	67	-
福岡 [中]	604 (619)	575 (589)	545	134	反落

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 10月2日～10月8日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,586,824 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,179	1,274	1,350	1,270	72,591
うで	734	806	852	805	120,633
ロース	1,134	1,210	1,297	1,212	137,000
ばら	1,226	1,297	1,361	1,291	158,034
もも	774	834	853	826	156,378
ヒレ	1,079	1,197	1,328	1,217	17,718
セット	976	1,070	1,109	1,050	924,470

◇近畿圏 総重量 749,166 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,274	1,382	1,435	1,375	56,615
うで	731	781	845	777	122,239
ロース	1,112	1,285	1,326	1,265	96,463
ばら	1,307	1,349	1,404	1,347	139,846
もも	745	775	845	783	170,949
ヒレ	1,242	1,365	1,444	1,360	11,810
セット	942	1,017	1,159	1,040	151,244

[食鳥正肉日経相場] 10月8日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社) ※休載

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	-	-	-	-
ムネ	-	-	-	-

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	657	716	1,030	5
ムネ	498	536	633	2

[農水省統計情報部食鳥市況] 10月7日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	1,016	789	550	600	650
安値	545	541	290	360	350
平均	749	571	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランケット判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男
鏡 晃 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆ステーショナリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します